





十九 同子生三日内養生之事

二十 同金玉腫養生之事

二十一 同口中之養生之事

二十二 同打身養生之事

二十三 同脱肛養生之事

二十四 婦人懷妊時養生之事

二十五 同懷妊時惣身腫事

二十六 同懷妊時俄胸痛ヲ止事

二十七 同懷妊時コロビ血下事

二十八 同胎内ノ子動ラ止事



二十九 同遊子ノ足出ル事

三十 同胎内ニテ子死タル事

三十一 同産前早メノ事

三十二 同乳痛乳出サル事

三十三 同産後之藥ノ事

三十四 同開ノ病養生ノ事

三十五 同開内瘡養生ノ事

三十六 同開側腫物出事

三十七 同開風養生ノ事

三十八 同常養生用藥事

卅九 蘇合圓之事

四十 五疳保童圓之事

四十一 丁子圓之事

四十二 延齡丹之事

四十三 反竟丹之事

四十四 萬金丹之事

四十五 豐心丹之事

四十六 六味地黄丸之事

四十七 木香丸之事

四十八 養胃丸之事

四十九 桑山小粒丸之事

五十 枳朮丸之事

五十一 安神散之事

五十二 黑神散之事

五十三 香薷散之事

五十四 濃州山田振藜之事

五十五 山田振藜之事

五十六 白朝散之事

五十七 神保血縛藜之事

五十八 アイヌ藜之事

萬病速効集 卷下

一 小兒臍緒落養生之事

小兒生臍緒落タル時其跡少

アツキ灰ヲフリカケ置ベシ

一代風ヲヒク事ナク虫氣出

ス雨降ニハダシニテ水ニ浸

テモ冷ノ病出ス

二 同疱瘡養生之事

小兒生産湯ノ内エアヒルノ

玉子ヲツブシ入テアヒセ置

一代疱瘡セズタト工疱瘡出
テモ輕跡ナシ惣而疱瘡致時
ハ始終乳香ヲ薰ベシ惡鬼其
家ニ不入

三 同舌シトギ養生之事

小兒舌タレ痛乳不吞而鳴
止事ナクバ舌シトギ心得
天南星ヲ粉ニシテ食ラソク
井ニ練押マゼテ足ノ土フ
スヲ能洗張付テ置ベシ

四 同腫物養生之事

小兒ノ手足ニ何疔シレヌモ
ノ出來シカノト膿モ出ス愈
カヌルニ八角入草ノ葉ヲ搗
其汁トモニ付テ吉世ニ相摸
取草ト云物ナリ

五 同瘡ノ養生之事

小兒ノ口ノマワリ目ハ夕手
足ニ瘡出來タルニハ南天ノ
若葉ヲ黒燒ニ仕白粉ヲ少入

髪ノ油ニテ練付テ吉又古キ
真綿ヲ黒焼ニシテ髪ノ油ニ
テ練付テ吉黒焼ノ仕用ハ土
器ニ入蓋ヲ仕テ外ヲ土ニテ
塗息ノ出ザルヤウニシテ焼

〔六〕同髪瘡養生之事

小兒髪ノ内ニ虱瘡出來或ハ
膿或ハ黄汁出有特ハ痛又ハ
痒ナル物也丁子肉桂檳榔子
各等分粉ニシテ髪ヲ豆腐ノ

湯ニテ洗ヨクホトバカシ瘡
ノ蓋ヲ櫛ニテヲトシ取右ノ
三色ノ藥ヲ髪ノ油ニテ練付
テ吉

〔七〕同小瘡養生之事

小兒疱瘡ノ時湯カケ時分遅
或ハ痘ノ時ノ養生惡敷スレ
バ必ズ小瘡成モノナリ是ニ
ハ樅木ノ生葉五百目セシ
茶ノ成程古キ袋ニツト黄礫

二十目右ノ三色ニ水三斗入
二斗ニ煎ジヘチマヲ湯手ニ
シテ幾度モ洗ヒ忍冬五兩草
草半兩右二色ニ水一升五合
入一升ニ煎ジ毎日五六度可
用

八 同鼻ノ下ノ廻赤成タ

ダレタル養生之事

小兒鼻ノ下タダレ次第ニ廣
ナリ頬マデタダレタルニハ

益母草忍冬黑胡麻草少入
煎ジタダレヲ洗其跡ヘキシ
ノ葉ハコベ此二色ヲ搗
合付テ吉妙ナリ

九 同箕節養生之事

小兒ノ頭ニナツブシトテ腫
物出來痛後ニハ膿出モノナ
リ何モ見エサル時頭サイク
ソリ葛ノ粉ヲバハコベノ汁
ニテ用ヌリテ吉是ハ出ヌ前

ノ養生ナリ又腫物ノ出タル
時ハ榆木皮粉ニシテ米ノ酢
ニテ解付テ吉又ハ帚木ノ實
ヲ粉ニシテハコベノ汁ニテ
解スリテ吉愈事妙也

〔十〕同ハス子ノ養生之事

小兒ノ頭ニハス子出來腫了
ガリタル時マワリエ人ノ骨
ノ焼タルヲ粉ニシテ緝屋糊
ニ練合テ張付テ置腫ノ真中

ニ牛房子ヲ粉ニシテ食ノツ
ク井ニ押マゼ付テ置ベレ早ク
ツブレ跡ヨク愈若出カヌル
時ハ舂刀ニテ真中ヲ深入ノ
セ又様二十文字ニ切テ膿ヲ
取テ吉

〔十一〕同汗瘡養生之事

小兒汗瘡出タルニハ紅ノ花ニ
冬葛ノ粉三々粉ニシテハコ
ベノ汁ニテ解スリテ吉又ハ

夕イ草ノ葉ノ汁モ吉

十二 同咽下腸下養生之事

小兒咽ノ下腸ノ下足ノ一タ

足ノ折カ、ミノタ、シタル

時ニハ古キ、曳茶、黄檗、莪朮、此

三色粉ニシテ振掛テ吉

十三 同シラクホ養生之事

小兒シラクホニハ髪ヲツリ白

水ニ豆腐ノ湯等分ニ入熱シ

テヘチ、一ヲ湯手ニシテヨク

洗大黃、檳榔子、木香、莪朮、各二

分、明礬、一、何モ粉ニシテ太

楓子之油ニテ練合布ニ包摺

付其上ニ絆屋糊ヲ紙ニテ張

付三日宛置右ノゴトク張替

三度シテ四度メノハ其俵置

ヒトリ落ルマテ置ベシ愈コ

ト妙ナリ

十四 同垂氣養生之事

小兒ニ兼テ紅ノ花ヲ寒ノ水

ニ浸置其中シタシキフナカ又ハコベノ汁シユルヲ
少スシモミ入イ一日イチニチニ二三度ドヅ、
用モテユベシ又ハ寒ノ紅ベニヲハコベ
ノ汁シユルニテ解トキテ吞ムクセテモ吉ヨシ此
藥クサリヲ常ツチニ用モテユレバ一切サツノ虫氣ムシケ
不出イデナイ或ハ乳チヲアマシ眼ノ内ウチ
ノ白青シロモアヲクナリ夜驚ヨルマヒナドセバ
山ヤママイヲサ湯ユニテ振出フリイダシ一
日イチニチニ三度ド可用ベシモテユ

十五 同霜腫養生之事

小兒セウニ霜腫シモハレニハ益母草ヤクモ黒燒クロヤキニ
シテ紅ベニヲ解トキテ練付ネリツケテ吉ヨシ又毎タビトビ
霜腫ノ腫處ハレドコロヲ六月ロクゲツ土用ドヨツニ其處
ニ味噌ミソヲ塗ヌリ其上ウヘニ暖アタタリ入イル程ホト
灸キヤヲ仕シテ吉ヨシ又ハ土用ドヨツニ石イシヲ
日ヒニ干ホシテソレニテ暖アタタテモ吉ヨシ

十六 同齒齙養生之事

小兒セウニ齒齙ハクサニテハグキノ色イロカ
ワリ或ハ腫ハレ又破ヤブ又膿齒ウミハクツ
ロキタルニハ糞フン垂チウテ脱ヌケガラ

クロヤキニシテ搦付ベシ

十七 同痺之養生之事

小兒日暮ヨリ眼見エズ又ハ
眼タ、丰繁ク晝モ毎ヨリ眠
ブレヤウニナリ腭ハリ鼻下タ
ダレ髮毛ヨレナトスルハ痺ニ
成下地ナリ長サ一尺ニホノ
泥鰍ニ薄味噌ヲ塗車前子ヲ
粉ニシテ振カケアブリ喰ス
ベシ或ハデシク虫ヲ負テ取

ヨクアラ井ウス味噌ヲ付ア
ブリ用テ吉又ハ腭張下次第
ニ瘦タルニハ地黄煎ノヤウ
ナル蟾蜍ヲハラワタヲトリ
ヨク洗薄味噌ヲヌリアブリ
一日ニ一度ヅ、蟾蜍一ツヲ
七日ニ用テ吉

右ハ痺ニ不成前ノ養生藥也
痺ニ極リ腭張目悪敷立居成
ガタク瘦ヲトロエタルニハ

赤犬ノ肝一ツヲ二十一ニ切
古酒ニ浸置味噌汁ニテヨク
煎テ一日ニ一切ヲ三度ツ、
三廻ノ間ニ用ベシ妙ナリ

十八 同夜鳴之養生之事

小兒夜鳴ノ時ハ子ノ臍ノ穴
ノ中エ胡椒粒ヲ二ニ割テ片
一方一ツト麝香一分ト入其
上ヲ糊ニテ紙ヲハリ置アラ
ノケニ子サセテ臍ヨリ上ニ

赤小豆五合袋ニ入ヲモシニ
置ベシ

十九 同生三日内養生之事

小兒生テ三日ノ内ハ乳ヲ吞
又モノナリ其三日ノ間ニ此
藥ヲ用レバ小瘡ハレカヲセ
又ナリ辰砂黃連甘草火入翁
ニ包振出サイくくマシテ吉
殊ニ小兒ノチリケテ目ニ脂
出或ハ眼縁タゞレ鼻ノ口赤

ナル事アリ右ノ藥ヲ調置用
ベキナリ

二十 同金玉腫養生之事

小兒俄ニ金玉大ニ腫痛時ニ桃
仁ヲ粉ニシテ流川水ヲ熱又水
ニ成程サシ練テ付又赤成夕
ラハ黄藥ヲ少シ入付テ吉効也

二十一 同口中之養生之事

小兒口中赤々レ後ニ白クナリ
其低置バ痛モノナリ昆布ノカク

石付ヲ黒焼シ寒紅テ練付吉

二十二 同打身之養生之事

小兒高處ヨリ落又ハコケテス
リヤフリテ血モ出シテ腫痛ニハ
ダイ草ノ葉ハコベ手ノ内ニテモ
ミクダキ付テ吉或ハ打破打切
血出ハ何草ニテモ三色手ノ
内ニテモミ研付テ其低血留ル
惣テ一切ノ血留ニ五月五日ニ
ニ艾葉ニ石灰ヲ入餅ノ如成

ホドヨクツキ五月ノ月中夜露
ニウタセ雨ノカ、ラザルヤウニシ
テ日ニ乾藥研ニテ細ニシテ
血ノ出口へ振掛血ノ留事妙
也唐ニテハ常ニ藥ヲ調懷中
セザル者ヲ藥袋ナントモ放菜
凡云ト有是ハ日本ノ世話ニ物
ヲ不調不嗜ノ者ヲ如此ニ嘲哂也

二十三 同脱肛養生之事

小兒脱肛出テ入兼ハ頭上ヲト

リノ處ヲ少髮ヲソリテ葛麻
子ヲ食ソクイニ押マゼ紙ニ
付テ張置腰ヲ湯ニツケ青苔
ニテソロクト煖能ヌクモリタル
時芭蕉ノ葉ヲ煖ソロクト押入テ吉

二十四 婦人懷妊時養生之事

婦人懷妊之時ハ立居閑ニ食物
ニ五辛ヲツ、レミ惡敷事ヲキカ
ズ聲高不言禮以身怙卧時モカ
ガマリ腹立事ナク慈悲ヲ施佛

神ヲ拜シ心ヲタヤカニ持ベシ産
安シテ子成人シテ後ニ智惠ヲ
カク孝行アル也右ハ是聖人胎
教之法ナリ

二十五 同懐妊時惣身腫事

婦人懐妊時惣身腫食モシカ
クトス、マズ心持モアシク
ウカクトシテ眠ケ出足ナト
タルク成タルニハ鯉ノ長一尺
有ヲ水一斗ニ舂入テ五舂ニ

煎ジ魚ヲ喰煎汁モ吞テ吉腫
ヒキテ安子ヲ産ナリ

二十六 同懐妊俄胸痛ヲ止事

婦人懐妊俄ニ胸痛ニハカラ竹
ノ皮ヲニタニ水二百目入百日
ニ煎ジ用ベシ又生姜一タニ古
酒ヲ五拾五タ水百目入惣合
シテ百五十六タヲ七十目煎
ジ用テ妙ナリ

二十七 同懐妊時コロビ血下ル事

婦人懐胎ノ時コロブスカ或ハ
重キ物ヲ持腹ニ荒アタリ血
下留カヌルニハ黄連ヲ二各七
ゲヲトリ粉ニシテニツニ分
テ朝食スギニ一度晝過ニ一
度古酒ニ入テ可用若酒ヲ用
事ナラザル人ハ天目ニ水一盃
入其ナカヘ酒ヲ盃ニ一盃入
テ天目ニ半分ニ煎ジテ右ノ
藥ヲ可吞血ヨク止リ産安ク子

毛無夏ニソタツナリ

二十八 同胎内ノ子動ヲ止事

婦人懐妊ノ時腹内子動上下
ハタラキ或ハ血下ニハ生地黃ノ
汁ヲシホリ雞ノ玉子ノ内ノ黄
ナル物ヲ取出シテ地黄ノシホ
リ汁ニカキマセテ可用又ハ
蔥ノ白根ヲヨク洗テニ多ヲ
水天目ニ二盃入一盃ニ煎可用

二十九 同逆子足出ル事

婦人逆子ニ産足見テ出カヌル
 ニハ釜ノスミヲ取塩ヲ入テ食ソ
 クイニ押セテ子ノ足裏ニヌリ
 置母ニハ蓬ヲ古酒ニテ煎可用
 又横子ニ出子ノ手一ツ斗出
 ルニハ黒雞ノ血ヲ取テ子ノ手
 ノ内ニヌリ又鉄ヲ焼テ酒ヲ茶
 碗ニ入テ其中ヘヤケタル鉄ヲ
 入テ酒ヲワカシテ可吞或ハ出
 タル子ノ足ニ三火灸スヘテモ吉

〔三十〕同胎内ニテ子死タル事
 婦人懐妊ノ時養生悪敷食物
 喰或ハ高處ヨリ落又ハココビ
 ツヨクノゴシレテ手足ヲアラフ
 クハタラキ身持ヲ悪敷スレハ死
 胎トテ胎内ニテ子死スル物ナ
 リ是ニハ唐人參一朱麝香半
 朱此ニ色粉ニシテアツ湯ニテ
 用テ吉又ハ紅ノ花肉桂等分
 ニサワくト煎可用或ハ金薄

二三枚小豆ヲ煮其汁ニテ可
吞安ウマル、夏妙ナリ

〔三十一〕同産前早メノ事

婦人産月ニ成腹ノ様躰昏リ
ケツクヤウニ腹痛事有ベシ
然共腰ノイタマヌウチハレキ
リニイキスム夏悪シ腰痛十
ラバ香附子肉桂等分ニ粉ニ
テサ湯ニテ可用又胞衣ノ七カ
エタルニハ抽ノ實三粒其俵サユ

ニテ可吞奇妙ナリ

〔三十二〕同乳痛乳出サル事

婦人乳出サルニハ干瓢ノツルノ
節ノアヒダヲ長サ三寸ニ切
陰干ニシテ二十五本天目ニ
水三盃入ニ盃ニ煎シ用吉又
餅米ニ合イリテ乘ノ葉陰乾
ニシテ四々此ニ色ヲ粉ニシ
テ白粥ニテ吞テ吉又ハ乳首
夕バレ汁出痛ニハ桂心ヲ粉ニ

シテ酒ニ浸シサイク洗テ吉
又觥一疋松脂廿目女ノ髪の毛
十五々此三色ヲ黒焼ニシテ米
ノ酢ニテ解付テ吉乳腫痛ニ
鯉ヲ黒焼ニシテ水ニテ解又
リ吉愈事妙ナリ

〔三十三〕同産後藥之事

婦人産後ニ頭痛シ或ハ上氣或
ハ手足シビレ又ハ血ヲサミラズフ
ルイ出ニハ六月ノ土用ニ藜ノ根

莖葉トモ隠干ニシテ黒焼ニ仕
サ湯テ用テ吉惣産後病用奇妙也

〔三十四〕同開ノ病發生之事

婦人腰氣ニテ開ノ内ゾゴロニ痒
也或ハ腫黄汁出折々ハ背ヨリ
イサムク氣上後ニハ瘦衰テ髪モ
抜腰膝痛立居モナリカタキモ
ナリ是ニハ地骨皮十々明礬ニ
々此ニ味ニ水一升八合入一升ニ
合ニ煎ジ開ノ内外ヲ洗テ雞ノ

生肝ヲ取其依開ノ内へ入置へ
 シ一日二三度宛雞ノ肝ヲ取出
 シ藥テ洗テハ又モトノゴトク
 ニ雞ノ肝ヲ入置ベシ七日ノ内
 ニ愈事妙也

三十五 同開内ノ瘡發生之事

婦人開ノ内ニ瘡出痛ニハ帚木
 實ヲ煎洗杏仁ヲ土器ニ入外ヲ
 土ニテヌリ息ノ出又ヨウニ
 シテ黒燒ニシテ細ニ粉ニシ

卅九 蘇合圓之事

識ノ急病目暈タル氣付ナリ
 或ハ痰喘ニ塞リ或ハ心痛鬼
 魅ノタリニ逢狂ハレク又ハ赤
 白ノ痢病小兒ノ驚風搐搦
 ヲ治メ尤モ効アリ

- | | | | |
|----------|-----|----|-----|
| 沉香 | 麝香 | 訶子 | 香附子 |
| 丁香 | 安息香 | 草撥 | 白朮 |
| 白檀香 | 薰陸 | 龍腦 | 蘇合油 |
| 安息香ノ内へ和シ | 鳥犀角 | 犀角 | 各 |
| 各十 | | | |

右何モ一味ツ、粉薬トナシ安
息膏又蜜ヲ入煉合せ乳鉢ニ
テナルホド久レクヨク搗合スベ
シ或ハ丸蒸ニモスルナリ病ナキニ
常ニ多ク服スベカラス真氣ヲ
散ス又風邪アル人服スベカラス
只急病ヲ救フベキナリ

四十 五疳保童圓之事

小兒五疳鼻ノ下赤爛レ瘦ツ
カレ疳ニテ瘡癩出來虫ヲ吐

腹脹又ハ痛等ノ症ヲ治ス

蘆薈 黃連 夜明砂

樟腦 龍膽 苦楝根皮

蟬退 蕪荑仁 五倍子

麝香 青黛 等分

右別々ニ散薬トナシ糊ニテ
丸ス其切甚ダ多シ

四十一 丁子圓之事

氣付痰嗽精ノツキ呃逆頭
痛腹痛虫積立暗等ヲ治ス

丁子ニネ 良姜ニネ 肉桂ニネ 乾姜ニネ
 人參各ニ 香附子各ニ 遠志各ニ 川芎各ニ
 木香各ニ 陳皮各ニ 枳椇各ニ 當歸各ニ
 黃芩各ニ 熊膽各ニ 地骨皮各ニ
 右十五味細ニ末ニ蜜ニ煉ニ
 [四十二] 延齡丹之事
 諸ノ頓レ歎レノ氣付ナリ或ハ中
 風痰咽ニ塞リ或ハ心痛腹痛
 癩癩瘡疾霍亂痢病婦人
 血塊等ヲ治ス

丁香各ニ 沉香各ニ 肉桂各ニ 縮砂各ニ
 辰砂各ニ 白檀各ニ 草撥各ニ 甘州各ニ
 栝樓各ニ 木香各ニ 龍腦各ニ 麝香各ニ
 訶子各ニ 乳香各ニ
 右十四味細ニ末ニ蜜ニ煉ニ
 ヨク搗ベシ道ニ翁ノ祕方ナリ

[四十三] 及鬼丹之事

心痛腹痛食傷痢病泄瀉積
 聚霍亂吐瀉又小兒ノ諸疳驚
 悸癩癩等ノ症ヲ治ス

木香 鶴虱 菝葜 三稜
 陳皮 大黃 胡蘆 黃連
 雄黃 枳殼 青皮 黃芩
 乳香 丁香 甘州 知母
 黑牽牛子 熊膽 麝香
 白丁香 赤小豆
 右二十一味 細末 麩麩蕎麥粉ノ糊ニテ丸ズ 又麝香丸ト名ツク道ニ翁ノ秘方ナリ

四十四 萬金丹之事

諸ノ毒ヲ解ニ 諸ノ惡瘡ヲ療
 食傷 霍亂 赤白痢疾ニキリ
 二腹痛ニ 瘡牙病打傷クニキ
 毒虫ニ 螫レタルト及ビ小兒ノ
 急慢驚風 五疳婦人ノ月ヨド
 三血塊ソノ外牛馬ノ病ニ用テ
 効多シ 紫金錠トモ名ツク
 山茨菰 五倍子 麝香
 續隨子 大戟 蘆頭
 去テ焙十五分

右五味別々ニ粉ニシ前方ヨリ
 製ヘ端牛カセ夕カ重陽ノ日
 ニ糊ニテ丸ズ金箔ヲ衣トスベシ
 合スルトキ喪アル人出家孤臭
 アル人惡瘡アル人又ハ女人犬
 猫雞ニ見スルコトヲ忌ベシ

〔四十五〕 豐心丹之事

霍亂吐逆食傷腹痛心癩泄
 瀉痢病瘧眩暈氣ノツキ吃
 逆惡心嘈雜ヲ治ス又諸ノ毒

ケシニ用フ

人參 縮砂 木香 丁香

藿香 沈香 檳榔子 草撥

白檀 各一分 桔梗 甘草二分

川芎 各一分 麝香七分 樟腦

龍腦 各三分 細茶 三年二十九

右細末トナシ年久キ餅ヲ

糊トナシ丸ジ辰砂ヲ衣トス

〔四十六〕 六味地黄丸之事

腎虛瘦ヲト只盜汗發熱

咽乾^カキ腰^イ痛^イニ耳^ミ鳴^ナ小使^コノ

コリ遺精^イナドアルヲ治^チス

熟^ジ芩^チ八十^ハ山^セ藥^ヤ四^シ山^セ菜^{サイ}黃^ウ向^ウ

白^ビ茯苓^{フク}澤^{タク}瀉^{シャ}牡丹^ボ皮^ヒ各^カ三^{サン}十^{ジュ}目^メ

右^ミ別^ベ々^ツニ末^マトナシ煉^リ蜜^{ミツ}ニテ

搗^ツ合^アス或^ニハ丸^ワ藥^{ヤク}トナシ鹽^シ湯^ユ

ニテ用^モフ蘿^{ライ}蔔^{クワン}ヲ忌^イム

又^マ六^{ロク}味^ミニ肉^{ニク}桂^{ケイ}十^{ジュ}分^フヲ加^クテ七^シ味^ミ

地^チ黃^{ワウ}丸^{ワン}ト云^ク

又^マ七^シ味^ミニ熟^ジ附^ブ子^シ十^{ジュ}分^フヲ加^クテ

八^{ハチ}味^ミ地^チ黃^{ワウ}丸^{ワン}ト云^ク

四十七 木^{モク}香^{カウ}丸^{ワン}之事^ジ

諸^{シヨ}ノ腹^{ハク}ノ病^{ビョウ}食^{シヤク}傷^{ウケ}鬱^{ウツ}氣^キ脚^{ケツ}ノ

支^シ小^{コウ}兒^ニノ虫^{ムシ}積^{シヨク}疳^{カン}氣^キヲ治^チス

香^{カウ}附^ブ子^シ煨^ヒ。胡^コ黃^{ワウ}連^{レン}煨^ヒ十^{ジュ}分^フ

○黃^{ワウ}柏^{ハク}煨^ヒ。青^{セイ}木^{モク}香^{カウ}五^ゴ分^フ火^カ

右^ミ細^{サイ}ニ末^マニ糊^コニテ椒^{セウ}自^ジホドニ

丸^{ワン}ニ一^{イツ}度^トニ九^ク粒^{リツ}ホド白^{ハク}湯^{トウ}ニテ

用^{ヨウ}フ効^{キウ}多^タク

四十八 養^{ヤウ}胃^イ丸^{ワン}之事^ジ

酒積胸ノ痞腹ノ痛氣鬱食

傷泄瀉虫積不食等ヲ治ス

檳榔子 木香 香附子

肉桂 陳皮 白朮

茯苓 厚朴 莪朮

三稜 甘草

右細ニ末シ糊ニテ椒目ホドニ

丸ジ一度ニ九粒ホト白湯ニテ

服フ此家傳ノ祕方ナリ常

ニ服シテ脾ヲ健ニシ胃ヲ養ヒ

食ヲ消シ鬱ヲ解シ虫ヲ殺ス

四十九 桑山小粒丸之事

小兒五疳ノ妙藥ナリ

苦參 白朮 夜漬アライ坐ミ

茯苓 黃柏 黑燒ニシ

麻沈 白朮 夜ツケ

右細ニ粉ニナシ。是ホドニ糊

ニテ丸ジ兒ノ年ノ數ホド服

ベシ小兒ノ諸病ニヨシ

又方 家傳ノ祕方ナリ小兒

ノ諸病ヲ治スヲ妙ナリ

赤蛙 日乾ニス 史君子 五分

麻沈 一分 胡黄连 一分

燕薹仁 一分 栴檀子 一分 熊膽 一分

右細末ニ熊膽ヲ水ニテトキ

其汁ヲ將テ是ホドニ丸ジ

小兒ノ年ノ数ホド用フ疳ニ

テ色々ト病ヲナシ變症出ル

ニ何ニ用ヒテモ妙ナリ

五十 枳水丸之事

老幼元氣ヲトロヘ飲食消世

ズ或ハ藏府調ラガルヲ治ス

伽二十洞 本皓各十各

右三味荷葉ニ飯ヲ包ミ燒

テ糊ニテ丸ズベシ潔古ガ秘方ニ

又方 東垣翁陳皮二両ヲ

五十一 安神散之事

一切心氣不足 怔忡驚悸健

忘夢遺目マヒ立クヲミ或ハ

産後血虚之氣ヲトリウシテ
 フニヨシ又常ニ精ノツキニ用
 茯苓 茯神 黄芪 遠志
 人参 桔梗 山藥 木香
 辰砂 甘草
 右細ニ末ニ薄茶一服ホドツ
 用フベシ是本辰砂妙香散
 ト云方ナリソレニハ麝香アリ
 麝香去タルニテ尤モヨキナリ

五十二 黒神散之事

産後ノ一切ノ病ニヨシ或ハ胞衣
 ノ下サルニモ子腹中ニテ死タル
 ニモ其外アトハラ目マヒナド
 ニコトクク用フベシ

- 黑豆 熟苜蓿 當故
- 肉桂 乾姜 芍薬
- 蒲黄 甘草

右細末ニ毎服一ネヅク白湯又
 ハ酒ニテ用フベシ

五十三 香薷散之事

暑氣ヲハラヒ霍亂吐瀉腹痛ヲ治ス夏ノ暑氣ツヨキ中ハ毎日二三服之兼テ服シ

香薷百 厚朴五十 陳皮

茯苓各三 甘草三又去

右散蒸トナシ冷水又ハ白湯ニテ一度ニ一ホド用フ

〔五十四〕濃洲山田振藥之事

金瘡産後并ニ血留氣付内深ニナ此一義ヲ以テ療治ス

當皈 川芎 芍藥

地黃 人參 青木葉

右霜ニノ葛粉各等分ニ合

セ幾度モ飲ベシ疵ニイチゴ

肉アガリテヨリ次第クニ加

ヘヨ葛ノ粉等分トハイヘドモ

必シ白ニガチニ合スベシ

人參 芍藥 川芎

桂心 當皈 木通

川骨 甘草

右擲ノ三増倍入能アブリ
温湯ニ振出し用フ又煎シテ
モ用ルナリ

五十五山田振藥之事

産後産前血ノ道フルイソリ
狂氣大熱目眩打身手負下
切ノ症ニ良

- 人參 肉桂 桂心 川骨
- 黃連 黃芩 當歸 山藥
- 川芎 大黃 木香 甘草

○虫氣アルニ六枚椰子ヲ加フ
右常ノ如クニ調合シ織ニテ
出シ五度ホド用ニ後常ノ如ク
煎シ服ス

五十六白朝散之事

産前産後ノ諸症金瘡打身
クニキノ主方ナリ

- 人參 木香 大黃 當歸
- 川芎 益母 芍藥 地黄
- 鬱金 陳皮 丁香 乳香

茯苓 蘇木 各等 甘草 煨

右常ノ如クニ合セ振出ニ用
フ血留ニハ麒麟竭ヲ火ニ加フ

〔五十七〕神保ノ血縛藥之事

産前産後手負ノ妙方帶ヲ

トカセ寢テモ吉

アラ カラザケ 十八角豆 生各 一兩

河骨 蘇 百草 黑胡麻 各三 分

右黑燒ニシテ細末ニ用フ

〔五十八〕アイス蒸之事

打身ノ妙方ナリ

百草 酒ニテ 河骨 鉄ヲ 十八角豆 走

右細ニ粉ニス又ハ黑燒トス

右ノ内へ紫荷車 黒大豆ノ

葉ニ色ノ黒燒等分ヲ右三

色ノ藥一兩ホトナラバ二分

ハカリ加へ服スルトキ燒蓋火

入上戸モ下戸モ酔ホドニ

酒ニテ用ルナリ手負産後

モノグルイスルヲ忽チ治ス

元祿六^{癸酉}歲

五月吉且

攝陽大坂

書林

久保田與兵衛

刊

行

本

